

【例題8】(高卒：農学)

稲の水管理について、①から⑤の空欄を埋めよ。

- ・ 稲の一生の中でかんがい水を最も必要とする時期は、移植後から活着までと、(①) から糊熟期^{こじゆくき}までである。
- ・ 通常、最高分げつ^{ぶん}期頃に1週間ほど、(②) を行うことが多い。(②) は、無効分げつ^{ぶん}の発生を抑えたり土壌中に酸素を供給するなどの効果がある。
- ・ 幼穂発育期には、2～3日間ずつ落水とかんがいを繰り返す(③) を行う。
- ・ 穂ばらみ^{ぶん}期に気温が低くなるおそれがあるときは、15cm～20cm の(④) とし、障害型冷害の起こる危険から幼穂を保護する。
- ・ 登熟が進み、大部分の穂が傾く糊熟期^{こじゆくき}を過ぎたら、かんがいを停止し、(⑤) する。(⑤) が早すぎると、登熟不良となって収量・品質が落ちることがあるので注意が必要である。

【例題9】（高卒：農学）

加工・業務用野菜について、下記の問いに答えよ。

- （1）加工・業務用野菜の需要はどのように変化しているか、理由も含めて簡潔に説明せよ。
- （2）生鮮出荷用野菜と比較した時の特性を3つ挙げよ。